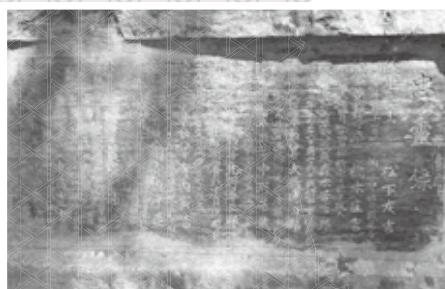


西田 孝司(松原市文化財保護審議会)



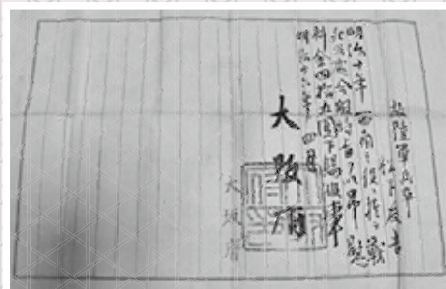
▲昭和9年の「忠霊録」(北新町2丁目・布忍神社祖霊社内) 右端に松下友吉の名と西南戦争での戦死の年月・場所を刻む。



▲22歳の松下友吉 明治10年1月撮影。大阪から西南戦争へ出兵する1カ月前である。



▲「松下友吉墓」(南新町6丁目・宝泉寺) 泉北郡五箇荘村船堂(現堺市北区船堂)の辻写真館撮影。



▲大阪府より遺族に45円の弔慰金を下されたことを記した書状 明治16年4月。忠霊録以外の3点は、南新町6丁目・松下守寛氏蔵。

大阪鎮台・第八聯隊歩兵で従軍 布忍神社の昭和九年「忠霊録」

昭和十年(一九三五)四月建立の松原村「忠魂碑」(上田二丁目、阿保茶屋交差点。昭和十二年(一九三七)五月建立の天美村「忠魂碑」(天美小学校南東側)。同じく十二年十二月建立の恵我村「忠魂碑」(恵我小学校西北側)については、前号で紹介しました。

こうした各地に見られる尖頭・蒲鉾状の縦長の「忠魂碑」銘の石碑とは別に、布忍村では、遺霊碑として、横長の「忠霊録」の銘を刻んだ石碑が建てられています。北新町二丁目の布忍神社境内東側の祖霊社内、「日露戦役記念」(明治参拾七八年記念)と刻まれた石碑が祀られています。入口に鳥居が建てられ、玉垣で囲まれています。他にも、近代以降、太平洋戦争まで布忍村から戦地に送られ、命を落とした兵士たちを弔う石碑が数基、建てられています。

そのうち、東側に見られるのが「忠霊録」です。二基建立されており、北側が昭和九年(一九三四)、南側が昭和十六年(一九四一)のもので、とくに、昭和九年碑には、松原市域出身で唯一、明治十年(一八七七)に起った西南戦争に従軍し、戦死した丹北郡清水村(の中河内郡布忍村清水)の松下友吉が記されています。

同碑表面には「忠霊録」と右端に刻し、友吉を筆頭に、縦書で布忍村出身の日清戦争(明治二十七八年)や日露戦争(明

治二十七八年)での戦死者を記しています。追刻として、昭和十二三年に、中国で戦死した兵士らも見られます。裏面には、「忠霊塔建設委員」として、布忍村村長の寺内憲治を筆頭に上下に二十九名を記します。設置時期の「昭和九年五月二十日」とあり、清水(現南新町)の石匠である石貫が施工しました。

西南戦争は、明治維新を推進してきた薩摩(鹿児島県)の西郷隆盛が鹿児島土族らと蜂起した反政府暴動です。熊本鎮台を攻撃しましたが、政府は全国からの徴兵令による軍隊で鎮圧しました。その際、熊本県の二俣口や田原坂で激しい攻防があったことはよく知られています。

清水村の松下友吉は、幕末の嘉永六年(一八五三)の生まれで、戸主の善六の次男でした。二つ上に長男・市造がいました。友吉の子孫にあたる南新町六丁目の松下守寛さん宅に、明治八年(一八七五)一月時の善六・市造夫婦や友吉らの戸籍などを記した松下家の「人員帳」と共に、友吉の『軍隊手帳』が所蔵されています。

明治十年二月十五日から起った西南戦争を鎮めるため、政府は大阪に司令部本営を置き、各部隊を九州に派遣しました。友吉は明治七年の徴兵検査で補充歩兵となり、九月一日に陸軍の部隊である大阪鎮台の歩兵として、第八聯隊第三大隊に入営しました。翌八年三月十二日に二等兵に昇任し、同月二十四日には第二大隊に転属し、四番中隊に編入されたのです。西南戦争が始まると、二月二十三日に今

し、第二旅団に編入され、第三大隊に属しました。翌三月四日から、西南戦争最大の激戦であった田原坂の戦いが始まり、第一旅団と共に第二旅団も同戦に向かいましたが、友吉らの第八聯隊は田原坂の南方の二俣の谷筋を進軍しました。二日後の六日、薩摩軍の拠点を陥落させましたが、その後、二俣口で薩摩軍の反撃を受けたのです。十四日、薩摩軍と政府軍は激しい戦いになり、双方に多くの犠牲者を出しました。友吉も、この時の激戦で二十二歳の命を落としたのです。

松下さん宅には、出兵前の明治十年一月に撮影された友吉の軍服姿の写真が残されています。また、その後、松下家の檀那寺である近くの融通念佛宗の宝泉寺に建立された墓石の写真も所蔵されています(現在、改葬され現存しない)。「松下友吉墓」と刻み、和泉砂岩製で、当時の兵士墓をほうふつさせます。

死後、明治十六年(一八八三)四月、大阪府では友吉の遺族に対し、四十五円の弔慰金を下しました。「故陸軍兵卒 松下友吉」(明治十年西南之役ニ於テ戦死候 処、今般特旨ヲ以弔慰料金四拾五圓下賜候事)「明治十六年四月 大阪府」の書状も保管されています。

布忍神社「忠霊録」には、「陸軍兵卒 松下友吉」(明治十年三月十四日、肥後国 俣口ニ於テ戦死ス)と刻まれています。

布忍村では、昭和初期に村出身者の日清・日露戦争戦死者に先立ち、西南戦争で戦死した友吉を慰霊し、未永くその名をとどめたのです。